

課題名	39 いぐさ新商品の開発	分類	①
	2) いぐさによる室内装飾調度品の開発		
試験研究 年次	1年(完了)		
I 目的			
住まいの生活空間に、豊さ・やすらぎ・楽しさを演出するいぐさによる室内装飾品を開発する。			
II 試験方法			
いぐさを梓木に挿入することを基本として、梓木による構成と挿入するいぐさの配色によって各種調度品を製作する。			
1 素材：いぐさ(生地及び染色したもの)、木(材名；アルダー)			
2 梓木：A型(二次元構成用)；幅1.5×厚さ0.8×長さ180cmの材木の厚さ中央にいぐさを挿入するための切り込み(幅0.25×深さ0.5cm)を入れたもの。			
B型(三次元構成用)；幅1×厚さ1×長さ180cmの材木の幅、厚さの2面にいぐさを挿入するための切り込み(幅0.25×深さ0.4cm)を入れたもの。			
3 開発品目：壁飾り、衝立、モバイル、オーナメント、照明器具			
III 主要成果の概要			
1 梓木は、いぐさが比較的軽量の素材であるため、いぐさとのバランスから軽快な感じをもたせる必要から、できるだけ細味で薄いものとする。			
2 梓木の構成は、挿入するいぐさが時間の経過にしたがって重力によってたわむので、幅20cm程度が限度である。			
3 梓木に挿入するいぐさの配色は、用いる場所によって多様なヴァリエーションが考えられる。			
3 壁飾りの大型のものや衝立など大きな構成のものは、梱包や輸送のことを考えてノックダウン方式とする必要がある。			
4 様々な色合いのいぐさと梓木をセットにして、消費者自らが製作を楽しむDIY(Do It Yourself)商品としての展開も期待される。			

VI 主要成果の具体的データ

第1表 開発品目一覧

開発品目	供試枠木	仕様
1 壁飾り	I A型	横20×縦160cmの枠に、横方向にいぐさを挿入し、木製リングで縦に吊り下げる。いぐさ色調-青。
	II "	壁飾りIの上部から25～55cmの間に鏡をはめ込み、残余の部分にいぐさを挿入し吊り下げる。いぐさ色調-青。
	III "	壁飾りIを7cmの間隔で横に4個並べたもの、横101×縦160cm。いぐさ色調-生地、青、赤。
2 衝立	A型	横20×縦85cmの枠にいぐさを挿入し、5cm間隔で3個並べて、横70×縦90cmに構成したもの。いぐさ色調-生地、青、金茶。
3 モビール	I A型	縦、横30cmの枠にいぐさを挿入し、対角線で4個繋いで吊り下げたもの。いぐさ色調-青、赤、黄、緑。
	II "	縦、横32cmの枠のなかに縦、横16cmのいぐさを挿入した枠をはめこんで2重にしたものを対角線で3個繋いで吊り下げたもの。いぐさ色調-生地、青、赤、黄。
	III "	縦、横32cmのいぐさを挿入した枠と縦、横20cmの枠に縦、横14cmのいぐさを挿入した枠をはめこんだ2重の枠を交互に5個対角線で繋いで吊り下げたもの。いぐさ色調-IIに同じ。
4 オーナメント	A型	縦、横20cmの枠に縦、横13cmのいぐさを挿入した枠を径2mmの針金で支持してはめこみ、幅6×奥行き6×高さ7cmの台に立てたもの。
5 照明器具	B型	幅20×奥行き20×高さ70cmの枠の四面にいぐさを挿入し底部に蛍光灯を取り付けたもの。いぐさ色調-生地。
V 成果の評価と取扱上の留意点		
<p>1 受託研究であるため、久留米地場産業振興センターの了解が必要である。</p> <p>2 試作品は、久留米地場産業振興センターに保管・展示されている。</p>		
VI 今後の研究上の問題点		
<p>1 包装、輸送対策</p> <p>2 D I Y商品としての展開</p>		
VII 資料名		
1	平成元年度 福岡県農業総合試験場筑後分場	いぐさ新商品開発に関する研究報告書
2	" "	いぐさの加工に関する試験成績書